

---

# 絢弾のアリア～武偵にあこがれた少年～

焰の錬金術師ラビ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

緋弾のアリア～武偵にあこがれた少年～

### 【著者名】

ZZマーク

### 【あらすじ】

焰の鍊金術師ラビ

武偵、武装探偵、あらゆる武装を許可し、武偵法の許す範囲で仕事をこなす便利屋。

そんなそんな役割に憧れ武偵になつた俺は彼女、神崎・H・アリアと出会い。

## 武偵

『武偵』

武偵とは凶悪化する犯罪に対抗して作られた国際資格であり

武装を許可され逮捕権を有し

報酬に応じた『武偵法』の許す範囲においてあらゆる仕事を受け持つ  
いわゆる便利屋

そして、彼らを教育するため機関が  
等級湾岸部に存在する。

東京武偵高校、通称『学園島』

俺がそこに入りもうすぐ1年がたとうとしている  
俺、  
蒼神 恭は  
アサルト

この武偵高の強襲科と呼ばれる学科に所属している  
今まで事件らしい事件はおこってない  
ところよつ坦々にされてない、それは俺がまだ1年生といつ理由な  
のか。

または何か大きなことが起る予兆なのか。

このときはわかるはずもなかつた。

## 登場人物紹介

つてわけで今日は登場人物紹介をします！

アリアたちも出すけどここはオリキャラの紹介場つてことで！！

蒼神 恭

16歳 2年A組 学科 強襲科

アサルト

とりあえず主人公

性格は短気単純お氣楽思考、常にヘラヘラしているが一人ぼっちの相手に友達なつてと簡単に言つてしまふほどお人好し勉強は赤点より少し上で頭はそこまで悪くはないが射撃、主に拳銃の扱いに長けている。

生まれつき左目が赤く、左目だけなら視力が8・0あるそのおかげで赤い眼を使っているときはハンドガンでも威力があれば遠くの敵を狙える。

だが本人は気にしているので黒いカラー・コンタクトをしている。滅多にカラー・コンタクトを外さないが、外したときはその視力をフルに生かすことが出来る。

そして、カラー・コンタクトを外して赤い眼になつたら、本人の中で何か性格が変わるスイッチが入るらしい・・・ちなみにこのことを知っているのは友人の口キだけだ。（スイッチのことは口キも知らない）

使用銃 ベレッタM92F

咲神 ヒロキ（さきがみ ひろき）  
16歳 2年A組 学科 探偵科（インケスター）

性格は前向き、周囲を和ませるオーラを出しているが自覚はない。  
探偵科なのに蒼神とパートナーを組んでいて  
同じ寮のルームメイトもある、蒼神から呼ばれる愛称は『口キ』  
探偵科ではトップクラスともいえるのが洞察力、観察力。  
即座に相手の武装や性格、弱点を読み取つてそれを周囲に伝える。  
射撃の腕もそれなりに上位に入る、だが、本人は  
『拳銃より狙撃つしよ！』といつており本人は、狙撃科を  
志願するが狙撃の成績はあまり芳しくなく入れない。  
性格は基本的には温厚だが、怒つたら手が付けられない。  
だが、何がスイッチになるかはわからない。

### 使用銃 デザートイーグル

桜庭 桜（さくらば さくら）

16歳 2年C組 学科 探偵科（インケスター）

咲神に好意を抱くも本人は全く気がつかない。

黒髪を背中までストレートに伸ばし、手をつけない、  
性格はおしとやかで常にみんなを気遣うしつかり者。  
だけど咲神の前だと少し甘えん坊になつてしまつ。

クラスが違うのでなかなか会えないが放課後などに急接近を測るなど  
大胆な面もある。

### 使用銃 ダブルイーグル

須藤 すどう  
唯 ゆい

16歳 2年A組 学科 強襲科 アサルト

結構な天然が入っており、常に二口一口している。  
髪を肩まで伸ばしてそれを右側で一つに結んでいる。  
形的に言えばアホ毛が右側に移動した、といった状態。  
蒼神に好意を抱くもその感情すらなんなかわかつておらず  
胸の苦しみ？に悩んでいる。

彼女は自称『蒼神の理解者第一号』らしい・・・

使用銃 U.S.P

井豪 リョウヤ (りょうや)  
16歳 2年B組 学科 尋問科 ダキユラ

無愛想で人見知りも少々入っている。

だが、尋問に関しては上位ランクに入っている。  
彼の尋問を受けた犯罪者は一度と罪を犯しません。  
と宣言するほどである。

別称『二代目綴』

使用銃 ベレッタM76

輪廻 りんね  
瑠璃 るり

16歳 2年A組 学科 探偵科 インクエスター

下向き思考でいつもクラスで孤立する。

漆黒の髪を背中まで伸ばしており桜と違つといひは

その色の度合いがとても濃いことだ、まるで飲まれるほど漆黒。  
蒼神に友達になろうといわれているが、『なんで私みたいな暗い子  
を・・・?』

と、自虐に走つてしまつたために心を開かない。

だが、次第に彼に惹かれていく。

探偵としての能力も高く、情報をピースと呼んでいて、謎をパズル  
と呼んでいる。

拳銃は蒼神が一つあつたベレッタのうち一つをパーティになつた記  
念に  
渡したもの。

使用銃 ベレッタM92F

・・・・・以上です!と、まあモブキャラとかも出ると思つので・・

好ければ探してみてください!――(笑)

## 登場人物紹介（後書き）

あとがきに書くことを本文にかいちゃつたので書く内容がない！？

（。 。 ）ノ

## 出会い

「ん  
・  
・  
・  
ふ  
あ  
・  
・  
・  
」

俺は眼し眼をこすりながらヘッドから隠れ

「ねみいな・・・」

僕は横のベッドでクリスすか寝てしるハガ  
咲伸 ヒ「キをたき起二す

「口早い、時間だぜえ～」

俺は足元のベレッタの弾丸を拾つて口キの耳に押し込む  
その次は鼻、最後にタオルを顔にかける  
そして目の前で合掌し

「君の事は、忘れないよ」

と、ふざけていつてゐる。

すると、流石に呼吸が出来ないのか

「ゴホッ！ がはっ！ はあー・・・ はあー・・・ ん？」  
口キが起床した

そして、今の状況を若えて、起きた。

俺はその顔を見て爆笑

やつた張本人の台詞とは思えないぐらいひどい言い様だと自負している。

口キセヨウヘ血圧計つれし風土記

鼻と耳にあつた弾丸を取る。

「てめえ！？蒼神貴様なん・・なんてことをおー！」

「安心しろー！写真はもう撮つたー！」

そういうてケータイでさつきのマヌケ画像を再生

「おわあー！テメエー！消せやー！」

「死んでも消すかよー！」

そういうてケータイ争奪戦の後、俺はカラー・コンタクトを左目に入れる

「でもさあ、お前右目だけ赤いのつてかつこーいって前言つてたじ  
やん

ワザワザ隠す必要があるのかね？」

ロキはあはりしく首をかしげる

そう、俺の左目は赤い、ちょっと変わった思考の俺だから  
とってもかっこいいと想つてゐる。  
だけど・・・ダメなんだ。  
こいつを使うと・・・ね？

「いいじゃん、むしろかしづちがカラー・コンタクトって思われそりだ  
し」

そういうてベレッタを制服の中にあるホルスターにしまつてから部屋を出る。  
見るとバスがもう着ていた。

「うわー・」「やつべー・

俺とロキは急いでバスに駆け込む、3秒差でロキが先に入る  
俺が入ろうとした瞬間、扉が閉まつた。

「マジで？！」

俺はショックと絶望の入り混じつた表情をロキに向ける  
ロキは俺を見て口パクで『朝の罰だ』といつて笑つた。

チクショウ、学校着いたら覚えとけ・・・

仕方ないので俺は自転車で行くことにする

「間に合えよ～」

そういうながら自転車を走らせる。

5分くらい走つたであらうか、俺は後ろから自動二輪の電動音が聞  
こえた

車かな？とおもつて振り返つたら、セグウェイ・・・のハンドルに  
9mm短機関銃

「マジかい！？」

俺は猛スピードでセグウェイと距離をとる、だが、機械相手に太刀  
打ちできるはずもなく

真横にくつつかれる、まずい、撃たれる！！

そうおもつたとき、機関銃のしたのスピーカーから声が聞こえた

『その自転車には爆弾がしかけて、やがります』

「・・・・・」

『そくどを落すと爆発、しゃがります』

・・・え？

『助けを呼んでも爆発し、やがります』

自転車が悲鳴をあげた、思いつきり漕ぎ出した自転車のタイヤはガタガタゆれている、チイ！

マジでな展開はもういやだ！

そうおもおつて上を見上げた、そこには、女の子がいた  
フェンスに立っている。制服は・・・武徳?  
そして、その女の子が飛び降りた。

— 55 —

俺は声を上げて焦つた

すると、女の子はパラシュートを開いてひらりと

そして、先ほどまで手でつかんでいたワッカに足をいれ、逆さ状態になつた

そして、一挺の拳銃をホルスターから抜き

「頭下げなさいよ！」のバカ！」

そうわけんで引き金を引こうとする  
つて、俺まだ頭下げてない！

そう心で突っ込みながらも頭を低くし被弾を防ぐ  
そして、何より驚いたのは彼女が持っていた拳銃  
ガバメント、威力が高いそれを一つ、しかも水平撃ちでこの命中力。  
ハンパネエな・・・

そう思いながらこちらの後ろを追いかけてくる女の子に俺は  
「このチャリには爆弾が仕掛けられてんだ！巻き込まれたくないな  
ら・・・」  
そこまで言つたら彼女の足が頭を踏みつける  
そして、思ったより高い、アニメ声で  
「武偵憲章1条仲間を信じ！仲間を助けよ！」  
そして、また逆さになり  
「こくわよー！」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7069y/>

---

緋弾のアリア～武偵にあこがれた少年～

2011年11月23日12時58分発行